

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 静岡工科自動車大学校
設置者名	学校法人 静岡自動車学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車システム工学科 1級エンジニアコース	-	6855 時間	320 時間 (4 年制)	
	自動車システム工学科 開発エンジニアコース	-	4404 時間	320 時間 (4 年制)	-
	ボディエンジニア専攻科	-	504 時間	80 時間 (1 年制)	-
	自動車整備科	-	4704 間	160 時間 (2 年制)	-
	国際オートメカニク科	-	1454 時間	240 時間 (3 年制)	-
(備考)自動車システム工学科 開発エンジニアコースの募集は令和4年度入学生をもって終了しました。 新たに開発エンジニア専攻科2年制を令和7年度より開設します。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページで公開 <a href="https://www.kohka.ac.jp/disclose">https://www.kohka.ac.jp/disclose</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 静岡工科自動車大学校
設置者名	学校法人 静岡自動車学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページで公開 <a href="https://www.kohka.ac.jp/disclose">https://www.kohka.ac.jp/disclose</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	前職 私立学校役員	令和4年6月1日～ 令和6年5月31日	コンプライアンス
非常勤	前職 鈴与セキュリティサービス（株）	令和4年6月1日～ 令和6年5月31日	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	専門学校 静岡工科自動車大学校
設置者名	学校法人 静岡自動車学園

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	カリキュラム編成委員会
役割	<p>1) 教育課程及び教育内容（シラバス）は社会や業界ニーズに合った内容とするため、企業等や業界関係者を委員構成に含むカリキュラム編成委員会を設置する。</p> <p>2) カリキュラム編成委員会の学校組織上の位置付けは、教育課程及び教育内容（シラバス）の編成に関する諮問機関とし、学校組織図に明記する。</p> <p>3) カリキュラム編成委員会は教育課程及び教育内容について審議し、内容等の見直しについての意見、助言を行う。</p> <p>4) 学校は、カリキュラム編成委員会の意見、助言を教育課程及び教育内容（シラバス）に反映するよう検討しなければならない。</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
一般社団法人静岡県自動車整備振興会	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	業界団体
ネッツトヨタ静岡株式会社	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	企業関係者
静岡県自動車整備商工組合	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	企業関係者
トヨタカローラ静岡株式会社	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	企業関係者
自動車技術会委員	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	企業関係者
有限会社中川自動車钣金塗装	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	企業関係者
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 静岡工科自動車大学校
設置者名	学校法人 静岡自動車学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)を作成するにあたり、「授業計画(シラバス)作成ガイドライン」を定め、ガイドラインに沿って作成している。                  授業計画(シラバス)は毎年度、期末に見直しを実施し内容を更新している。また、授業計画は毎年度更新したものを本校のホームページ上に掲載、公開し閲覧可能な状態にしている。</p>	
授業計画書の公表方法	本校ホームページで公表 <a href="https://www.kohka.ac.jp/disclose">https://www.kohka.ac.jp/disclose</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習成果の評価方法については本校の「学則」、「教務規定」及び「単位認定の方針について」に定め、その内容に従って評価を実施している。シラバスに科目ごと評価方法を記載し公表している。</p> <p>学生便覧 <a href="https://www.kohka.ac.jp/disclose">https://www.kohka.ac.jp/disclose</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学則 1-2 ページ</li> <li>・教務規定 3-2 ページ</li> <li>・単位認定の方針について</li> </ul> <p><a href="https://www.kohka.ac.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/d3bb87188971c423180d0a4470e63859.pdf">https://www.kohka.ac.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/d3bb87188971c423180d0a4470e63859.pdf</a></p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科目の成績は100点満点の点数で表し、秀、優、良、可、不可に区分するとともにGP及びGPAを算出することを「GPAの算出について」に定め、ホームページで公表している。期末にはGPAから成績の分布状況を把握し、成績不振者の指導材料としている。</p>	

客観的な指標の算出方法の公表方法	本校ホームページで公表 「GPA の算出について」 <a href="https://www.kohka.ac.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/31b18682291ba79461c11dd2b0256b7a.pdf">https://www.kohka.ac.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/31b18682291ba79461c11dd2b0256b7a.pdf</a>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  ディプロマポリシーに沿って、学則及び教務規程の卒業要件を満たしているか、学生個々に判定し校長の決裁を経て卒業認定を行っている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	本校ホームページで公表 「ディプロマポリシー」 <a href="https://www.kohka.ac.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2023/06/1dcd86a70bd1e252e99c119280186401-1.pdf">https://www.kohka.ac.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2023/06/1dcd86a70bd1e252e99c119280186401-1.pdf</a>

上表 1～4 については、すべての学科について同様の取扱いをしている。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 静岡工科自動車大学校
設置者名	学校法人 静岡自動車学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページで公開
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.kohka.ac.jp/disclose">https://www.kohka.ac.jp/disclose</a> （以下同じ）
財産目録	本校ホームページで公開
事業報告書	本校ホームページで公開
監事による監査報告（書）	本校ホームページで公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程 (工業分野)	自動車システム工学科 1級エンジニアコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	4383.0 単位時間/単位	単位時間 1823.4/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 2559.6/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	4383.0 単位時間/単位						
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320 (295) 人	244 人	0 人	21 人	6 人	27 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）教育課程表及びシラバス
成績評価の基準・方法 （概要）学生便覧 P3-2（教務規定 第5条）
卒業・進級の認定基準 （概要）学生便覧 P3-3（教務規定 第9条）
学修支援等 （概要）クラス担任制があり、欠席、遅刻、欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39人 (100.0%)	0人 (0.0%)	39人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 自動車販売整備会社、整備専門工場			
（就職指導内容） 無料職業紹介所の届け出を行い、求人票の提出があった企業に対して、求職票の提出があった学生を紹介している。毎年、企業を招いての企業ガイダンスを行い、個別の就職指導はクラス担任と入試・進路課が連携して実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・一級自動車整備士 ・二級自動車整備士 ・フォークリフト運転技能講習 ・ソーシャル検定中級上級 ・サービス介助士 ・危険物取扱者 ・ガス溶接技能講習 ・アーク溶接特別教育 ・電気自動車等の整備特別教育 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
261人	16人	6.1%
（中途退学の主な理由） 経済的な理由を含む家庭の事情、病気療養等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、副担任による定期的な面談及び個別相談 科目担当者による成績不良者に対する補習授業の実施等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程 (工業分野)	自動車システム工学科 開発エンジニアコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3886.2 単位時間/単位	単位時間 1681.2/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 2205.0/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3886.2 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320 (295) 人	13 人	0 人	16 人	7 人	23 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教育課程表及びシラバス
成績評価の基準・方法
(概要) 学生便覧 P3-2 (教務規定 第5条)
卒業・進級の認定基準
(概要) 学生便覧 P3-3 (教務規定 第9条)
学修支援等
(概要) クラス担任制があり、欠席、遅刻、欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100.0%)	0人 (0.0%)	2人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 自動車製造開発関連企業、自動車販売整備会社			
(就職指導内容) 無料職業紹介所の届け出を行い、求人票の提出があった企業に対して、求職票の提出があった学生を紹介している。毎年、企業を招いての企業ガイダンスを行い、個別の就職指導はクラス担任と入試・進路課が連携して実施している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 民間資格 3次元CAD利用技術者、フォークリフト運転技能講習 巻き上げ機 (ウインチ) 特別教育、			

タイヤ空気充てん作業特別教育 等

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 特になし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任、副担任による定期的な面談及び個別相談 科目担当者による成績不良者に対する補習授業の実施等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程 (工業分野)	ボディエンジニア専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	1047.6 単位時間/単位	単位時間 374.4/単位	単位時間 /単位	単位時間 673.2/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1047.6 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		16人	0人	2人	1人	3人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教育課程表及びシラバス
成績評価の基準・方法
(概要) 学生便覧 P3-2 (教務規定 第5条)
卒業・進級の認定基準
(概要) 学生便覧 P3-3 (教務規定 第9条)
学修支援等
(概要) クラス担任制があり、欠席、遅刻、欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100.0%)	0人 (0.0%)	30人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 自動車製造開発関連企業、自動車販売整備会社			
(就職指導内容) 無料職業紹介所の届け出を行い、求人票の提出があった企業に対して、求職票の提出があった学生を紹介している。毎年、企業を招いての企業ガイダンスを行い、個別の就職指導はクラス担任と入試・進路課が連携して実施している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 国家資格 自動車車体整備士 民間資格 中古自動車査定士、フォークリフト運転技能講習、			

有機溶剤作業主任者講習研削砥石の取り換え等に係る特別教育、  
タイヤ空気充てん作業特別教育

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由を含む家庭の事情、病気療養等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任、副担任による定期的な面談及び個別相談 科目担当者による成績不良者に対する補習授業の実施等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程 (工業分野)	自動車整備科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2030.4 単位時間/単位	単位時間 824.4/単位	単位時間 /単位	単位時間 1206.0/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2030.4 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	86人	0人	16人	3人	19人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 教育課程表及びシラバス
成績評価の基準・方法 (概要) 学生便覧 P3-2 (教務規定 第5条)
卒業・進級の認定基準 (概要) 学生便覧 P3-3 (教務規定 第9条)
学修支援等 (概要) クラス担任制があり、欠席、遅刻、欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
57人 (100.0%)	0人 (0.0%)	57人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 自動車製造開発関連企業、自動車販売整備会社			
(就職指導内容) 無料職業紹介所の届け出を行い、求人票の提出があった企業に対して、求職票の提出があった学生を紹介している。毎年、企業を招いての企業ガイダンスを行い、個別の就職指導はクラス担任と入試・進路課が連携して実施している。			

(主な学修成果 (資格・検定等)) ・二級ガソリン自動車整備士・二級ジーゼル自動車整備士・ソーシャル検定中級 ・ガス溶接技能講習 ・アーク溶接特別教育 ・電気自動車等の整備特別教育 等 (備考) (任意記載事項)
---

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
104 人	10 人	9.6%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由を含む家庭の事情、病気療養等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任、副担任による定期的な面談及び個別相談 科目担当者による成績不良者に対する補習授業の実施等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程 (工業分野)	国際オートメカニク科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2624.4 単位時間/単位	単位時間 1202.4/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 1422.0/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2624.4 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 (140) 人	122 人	122 人	7 人	1 人	8 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教育課程表及びシラバス
成績評価の基準・方法
(概要) 学生便覧 P3-2 (教務規定 第5条)
卒業・進級の認定基準
(概要) 学生便覧 P3-3 (教務規定 第9条)
学修支援等
(概要) クラス担任制があり、欠席、遅刻、欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
55 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	53 人 (96.4%)	2 人 (3.6%)
(主な就職、業界等) 自動車製造開発関連企業、自動車販売整備会社			
(就職指導内容) 無料職業紹介所の届け出を行い、求人票の提出があった企業に対して、求職票の提出があった学生を紹介している。毎年、企業を招いての企業ガイダンスを行い、個別の就職指導はクラス担任と入試・進路課が連携して実施している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ・二級ガソリン自動車整備士・二級ジーゼル自動車整備士 ・ガス溶接技能講習 ・アーク溶接特別教育 ・電気自動車等の整備特別教育			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
167 人	10 人	6.0%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由を含む家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任、副担任による定期的な面談及び個別相談 科目担当者による成績不良者に対する補習授業の実施等		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車システム工学科	200,000 円	1,020,000 円	18,000 円	後援会会費
自動車整備科	200,000 円	1,020,000 円	18,000 円	後援会会費
国際オートメカニク科	200,000 円	780,000 円	18,000 円	後援会会費
ボディエンジニア専攻科	150,000 円	1,020,000 円	18,000 円	後援会会費
修学支援 (任意記載事項)				
学校独自の奨学金・授業料減免制度：有 特待生入試制度、下宿生住宅支援、通学者支援、同窓会奨学金				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.kohka.ac.jp/disclose">https://www.kohka.ac.jp/disclose</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) <p>専門学校静岡工科自動車大学校は、保護者や地域住民などの学校関係者等が、学校が実施する自己点検評価の結果を評価すること等を通じて、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校・家庭・企業等の業界関係者が学校の現状と課題について共通理解を深めて相互の連携を促し、学校運営の改善への協力を促進することを目的として学校関係者評価を行う。</p> <p>評価項目 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献、国際交流</p> <p>評価委員の構成 委員定数4人、区分 (PTA、卒業生、企業等委員) 詳細は下部「学校関係者評価の委員」の項参照</p> <p>学校関係者評価結果の活用 毎年、学校関係者評価委員会において評価委員それぞれの立場でのご意見、ご提案をいただいた後、学校評価書 (学校関係者評価書) に取りまとめをする。学校評価書は学校関係者評価委員にフィードバックすると共に本校教職員に周知し、科・学年会議又は分掌会議 (教務、自治活動、施設管理) に展開し、各部署部門での改善案を検討する。改善案の中で改善時期、担当者、責任者など詳細を決め実行する。年度末には改善された状態について自己点検を行うことで改善状況のチェックを実施する。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
本校後援会会長	令和5年5月13日～ 令和6年5月12日	P T A
一般社団法人静岡県自動車整備振興会	令和5年5月13日～ 令和6年5月12日	卒業生・企業

静岡県自動車整備商工組合	令和5年5月13日～ 令和6年5月12日	企業等委員
トヨタカローラ静岡株式会社	令和5年5月13日～ 令和6年5月12日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.kohka.ac.jp/disclose">https://www.kohka.ac.jp/disclose</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項) <a href="https://www.kohka.ac.jp/disclose">https://www.kohka.ac.jp/disclose</a>		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.kohka.ac.jp/disclose">https://www.kohka.ac.jp/disclose</a>
--